

日本測地学会第 136 回講演会プログラム

期日：2021 年 11 月 17 日（水）～ 11 月 19 日（金）

場所：オンライン

主催：日本測地学会

講演会予定表

	11月17日（水）	11月18日（木）	11月19日（金）
10	開会宣言（10:00-10:05）	GNSS（1）（25-30） 9:30-11:00	地球回転・GGOS（1）（50-55） 9:30-11:00
11	重力・海洋測地（01-08） 10:05-12:05		
12		GNSS（2）・計測技術・SAR（1） （31-34） 11:10-12:10	GGOS（2）・地殻変動（4） （56-59） 11:10-12:10
13	昼休み	昼休み/評議会	昼休み
14	測地・地殻変動（1）（09-14） 13:15-14:45	SAR（2）（35-41） 13:30-15:15	地殻変動（5）（60-63） 13:30-14:30
15	地殻変動（2）（15-20） 14:55-16:25		地殻変動（6）（64-67） 14:40-15:40
16		地殻変動（3）（42-49） 15:25-17:25	閉会宣言・学生優秀発表賞 発表 15:40-
17	南極測地・惑星測地（21-24） 16:35-17:35	IAG報告 17:25-17:45	
18	ポスターコアタイム（1） （P01-P08） 17:45-19:00	ポスターコアタイム（2） （P09-P16） 17:45-19:00	
19		オンライン懇親会 19:00-20:30	
20			

【口頭発表】発表時間は申し込みの際の申請時間に依らず、1件15分（発表12分、質疑応答3分）とします。

【ポスター発表】別途通知予定のURLに講演会期間中にPDFを掲示します。設定されたコアタイムにZoomのブレイクアウトルームで質疑討論を行います。

【オンライン懇親会】SpatialChatを利用する予定です。こちらもURLを別途通知予定です。

2021年11月17日(水)

開会宣言 (10:00-10:05)

重力 (10:05-11:20)

座長：松尾功二、富田史章

01 10:05-10:20

ストークス・ヘルメルト法に基づく精密ジオイド
決定のための凝縮地形質量塊の最適な深度の検討

#松尾功二

02 10:20-10:35

精密重力ジオイド・モデル構築に向けた航空重力
測定の品質評価

#中島正寛, 深谷俊太郎, 飯塚康裕, 豊福隆史
越智久巳一, 山本宏章, 大森秀一, 加藤知瑛
畔柳将人, 半田優実, 松尾功二

03 10:35-10:50

陸水重力変化における「建物の傘」効果～国立天文
台水沢における事例～

#風間卓仁, 田村良明, 今西祐一, 西山竜一
隠岐颯太

04 10:50-11:05

バネ式相対重力計におけるスケールファクターの
読取值依存性(第2報)

#若林 環*, 風間卓仁, 大柳 諒, 岡田和晃
青山 裕, 高橋浩晃, 田村良明, 今西祐一
西山竜一, 福田洋一, 吉川 慎, 大倉敬宏
山本圭吾

05 11:05-11:20

国立極地研究所(立川)の重力変化について(第二
報)

#福田洋一, 服部晃久, 奥野淳一, 青山雄一
土井浩一郎

海洋測地 (11:20-12:05)

座長：富田史章、松尾功二

06 11:20-11:35

非定常地殻変動の把握を目指した A-0-A 方式によ
る深海対応海底水圧計ドリフト補正システムの開
発(第4報)

#太田雄策, 日野亮太, 佐藤真樹子, 鈴木秀市
大塚英人, 梶川宏明, 小島時彦

07 11:35-11:50

海底間音響測距による三陸沖海溝軸近傍での収束
速度の計測

#西村 建*, 木戸元之, 日野亮太

08 11:50-12:05

MCMC法を用いたGNSS-Acoustic解析手法の開発

#富田史章, 木戸元之

昼休み (12:05-13:15)

測地 (13:15-13:30)

座長：田中愛幸、板場智史

09 13:15-13:30

光格子時計の利用により期待される地殻変動監視
の高度化

#田中愛幸, 香取秀俊

地殻変動(1) (13:30-14:45)

座長：田中愛幸、板場智史

10 13:30-13:45

西南日本GNSSアレイからの短期スロースリップ現
象の検出：I1トレンドフィルタリングによるアプ
ローチ

#矢野恵佑, 加納将行

- 11 13:45-14:00
アラスカ沈み込み帯における短期的スロースリップイベントの系統的検出
#岡田悠太郎*, 西村卓也
- 12 14:00-14:15
四国西部における小規模な短期的スロースリップイベントの検出
#高部太来*, 須田直樹, 青木陽介
- 13 14:15-14:30
キネマティック GPS による Cascadia スロースリップの時間発展の推定
#伊東優治, 青木陽介, 福田淳一
- 14 14:30-14:45
陸上ボアホール歪観測による紀伊半島沖浅部 SSE の検出
#板場智史, 太田和晃, 長谷川浩
- 休憩-
- 地殻変動(2)** (14:55-16:25)
座長: 伊東優治、川元智司
- 15 14:55-15:10
基底関数展開による変位場推定における3次スプライン関数とボックスカー関数の比較
#野末陽平*, 深畑幸俊
- 16 15:10-15:25
ハミルトニアンモンテカルロ法を活用した断層モデル推定とメトロポリス・ヘイスティング法との比較
#山田太介*, 太田雄策
- 17 15:25-15:40
- REGARD 推定結果へのデータ品質評価の導入
#大野圭太郎, 高松直史, 村松弘規, 阿部 聡
川元智司
- 18 15:40-15:55
リアルタイム PPP 測位を用いた断層推定の評価
#多田直洋, 阿部 聡, 大野圭太郎, 高松直史
村松弘規, 川元智司
- 19 15:55-16:10
Subsidence in NW Colombia explained by a viscoelastic earthquake cycle model
#LIZARAZO Sindy Carolina*, SAGIYA Takeshi
- 20 16:10-16:25
Toward a quantitative analysis of inelastic crustal deformation: performance evaluation of elastic prediction method
#Arong Bai*, Takeshi Sagiya
- 休憩-
- 南極測地** (16:35-17:35)
座長: 山本圭香
- 21 16:35-16:50
Sentinel-1 SAR データを用いた2018年から2021年における白瀬氷河流動速度推定
#大川翔太郎*, 土井浩一郎, 中村和樹, 永井裕人
- 22 16:50-17:05
GIA に伴う南極重力場変動の地球内部粘弾性構造依存性
#入江芳矢, 奥野淳一, 石輪健樹, 土井浩一郎
福田洋一

惑星測地 (16:35-17:05)

座長：山本圭香

23 17:05-17:20

MMXにおける測地学研究：科学要求と観測計画

#松本晃治, 平田 成, 池田 人, 神山 徹

千秋博紀, 山本圭香, 野田寛大, 宮本英昭

新谷昌人, 荒木博志, 鎌田俊一, Nicola Baresi

竝木則行

24 17:20-17:35

MMXの軌道決定によるフォボス内部密度推定

#山本圭香, 松本晃治, 池田 人, 千秋博紀

-休憩-

ポスターコアタイム (1) (17:45-19:00)

P01-P08

2020年11月18日(木)

GNSS (1) (9:30-11:00)

座長：中尾 茂、太田雄策

25 9:30-9:45

RINEX データ前処理ソフトウェア RINGO の開発

#川元智司, 高松直史

26 9:45-10:00

GBM 迅速層による GPS, GLONASS, GALILEO の同時解析

#中尾 茂, 伊藤広和, 多田吉成, 小林敬幸

沓澤 哲, 藤井綾香, 末野幹雄, 里村幹夫

27 10:00-10:15

地盤変動情報 (JISLaD) の実際の測量への応用 (その1)

植田伸一, #里村幹夫, 伊藤広和, 多田吉成

庭野 基, 相京幸一, 中川雄二, 島田誠一

末野幹雄, 藤井綾香, 工藤智幸, 長谷部行生

永井隆一

28 10:15-10:30

民間 GNSS 観測網を用いた地殻変動モニタリングの可能性

#太田雄策, 大園真子

29 10:30-10:45

強い音波がもたらす電離圏擾乱の地磁気を考慮した三次元数値計算：2020年ペイルート爆発と想定南海トラフ地震の事例

#松下 愛*, 日置幸介

30 10:45-11:00

マルチ GNSS-TEC 法による Sporadic E 層の観測と L5 の活用

#藤本達也*, 日置幸介

-休憩-

GNSS (2) (11:10-11:25)

座長：木下陽平

31 11:10-11:25

GNSS 局上下位置時系列に生じる異常値について

#日置幸介, 玉田祐樹, 池谷駿

計測技術 (11:25-11:40)

座長：木下陽平

32 11:25-11:40

次世代超高感度マイクロ波放射計用広帯域受信機の開発(II)

#氏原秀樹, 市川隆一, 佐藤晋介, 関戸 衛
太田雄策, 宮原伐折羅, 宗包浩志, 小林知勝
長崎岳人, 田島 治, 荒木健太郎, 田尻拓也
松島 健, 今井 裕, 瀧口博士, 竹内 央
寺家孝明, 小山友明, 松島喜雄, 桃谷辰也

宇都宮健志

SAR (1) (11:40-12:10)

座長：木下陽平

33 11:40-11:55

Mitigation of tropospheric delay noise in
InSAR analysis using meso-scale
meteorological models: A case study of Japan
#Sardila Nurulhikmah Sailellah*, Yo Fukushima

34 11:55-12:10

GNSS と数値気象モデルの水平風データを融合した
InSAR 大気遅延モデルの開発

#木下陽平

昼休み・評議会 (12:10-13:30)

SAR (2) (13:30-15:15)

座長：森下 遊、姫松裕志

35 13:30-13:45

共分散解析に基づく InSAR データにおける異常度
ヒートマップ作成の試み

#姫松裕志, 小澤 拓

36 13:45-14:00

InSAR を用いた 2011 年東北地方太平洋沖地震時に
おける仙台市内の谷埋め盛土での変動検出

#宮嶋愛菜*, 福島 洋

37 14:00-14:15

東シベリアの火災跡地における永久凍土融解の空
間的不均一性: ALOS2 高分解能干渉画像と現地調
査による検証

#柳谷一輝*, 古屋正人, 岩花 剛, Petr Danilov

38 14:15-14:30

Sentinel-1 衛星によりとらえた南パタゴニア氷原
の氷河の短期的な変化

#伊藤悠哉*, 古屋正人

39 14:30-14:45

遠音別岳南東斜面における地すべり崩土の内部変
形: InSAR による高解像度 3 次元速度場の推定

#大塚隆世*, 高田陽一郎

40 14:45-15:00

複数 SAR データ解析手法の統合利用による 3 次元
変動場と誤差の導出

#森下 遊

41 15:00-15:15

2018 年新燃岳噴火における溶岩流出後の火口内の
変形

#小澤 拓

-休憩-

地殻変動(3) (15:25-17:25)

座長：福島 洋、藤原 智

42 15:25-15:40

北西太平洋地域のプレート運動安定性の検討

#石田優香*, 高橋浩晃, 大園真子

43 15:40-15:55

日本列島のGNSS水平ひずみ速度場と地震メカニズム解の比較

#小杉一誠*, 三井雄太

44 15:55-16:10

Using InSAR for evaluating the accuracy of seismically-derived earthquake locations and focal mechanism solutions

#Nematollah Ghayournajarkar*, Yo Fukushima

45 16:10-16:25

2021年8月14日ハイチ地震(Mw7.2)のInSAR解析による地殻変動の特徴

#福島 洋

46 16:25-16:40

チャマン断層の2016年中規模地震に伴う地震時・地震後滑りの非相補的分布

#古屋正人, 松本史子

47 16:40-16:55

A Universal Feature of Postseismic Transient Found in Inland and Interplate Earthquakes

#MENESES-GUTIERREZ Angela, 鷺谷 威
三浦 哲, 大園真子

48 16:55-17:10

東北地方太平洋沖地震の余効変動予測モデルを利用した広域の微小な地殻変動検出

#藤原 智

49 17:10-17:25

GNSS観測によるネパール・ヒマラヤ主要断層帯の固着推定

#大園真子, 田部井隆雄, Bishow R. Silwal
Rajendra Bhandari, Janak B. Cahnd, Kandel
Thakur, Soma N. Sapkota, 三宅弘恵, 瀧瀬一起

IAG 報告 (17:25-17:45)

古屋正人, 宮原伐折羅

ポスターコアタイム (2) (17:45-19:00)

P09-P16

オンライン懇親会 (19:00-20:30)

2020年11月19日(金)

地球回転 (9:30-9:45)

座長: 宮原伐折羅, 横田裕輔

50 9:30-9:45

チャンドラー周期は時間変化しないのか?

#山口竜史*, 古屋正人

GGOS(1) (9:45-11:00)

座長: 宮原伐折羅, 横田裕輔

51 9:45-10:00

全球統合測地観測システム(GGOS) -最近の活動と日本での連携-

#宮原伐折羅, 大坪俊通, 横田裕輔, 栗原 忍
Martin Sehnal

52 10:00-10:15

日本の測地学分野におけるデータアーカイブシステム

#横田裕輔, GGOS Japan データ DOI 作業部会

53 10:15-10:30

小型・低価格 Omni-SLR 要素技術開発 (1) システムコンセプト

#大坪俊通, 荒木博志, 横田裕輔, 松本岳大
小林美穂子, 土井浩一郎, 国森裕生, 中島潤一

54 10:30-10:45

小型・低価格 Omni-SLR 要素技術開発 (2) 光学系設計

#荒木博志, 大坪俊通, 横田裕輔, 松本岳大
小林美穂子

55 10:45-11:00

小型・低価格 Omni-SLR 要素技術開発 (3) ソフトウェア設計

#横田裕輔, 大坪俊通, 荒木博志, 松本岳大
亀岡 航

-休憩-

GGOS (2) (11:10-11:25)

座長: 中島悠貴

56 11:10-11:25

験潮場の GNSS 連続観測データを用いた海面変動トレンドの推定

#三浦優司, 小川拓真, 森下 一, 仲井博之

地殻変動 (4) (11:25-12:10)

座長: 中島悠貴

57 11:25-11:40

能登半島において 2020 年 12 月に開始した群発地震に同期する地殻変動

#西村卓也, 西川友章, 佐藤大祐

58 11:40-11:55

測地データに見る有珠山の噴火時収縮と噴火間膨張サイクルの反復

#村上 亮

59 11:55-12:10

粘弾性を考慮した有珠山マグマ溜り・特徴パラメータの制約

#中島悠貴, 村上 亮

昼休み (12:10-13:30)

地殻変動 (5) (13:30-14:30)

座長: 高田陽一郎

60 13:30-13:45

精密水準測量によって検出された御嶽山の上下変動 (2019-2021 年)

#村瀬雅之, 前田裕太, 國友孝洋, 堀川信一郎

小池遥之, 竹脇 聡, 松島 健, 内田和也

池田宝佑, 鈴木陽太, 吉川 慎, 井上寛之

成田翔平, 及川 純, 木股文昭, 手操佳子

金子祐也, 柳澤宏彰

61 13:45-14:00

500 m 深立坑掘削に伴う周辺域での地下水位低下と沈降(2002-2021年)

#木股文昭, 森 濟, 村瀬雅之, 浅井康広
宮島力雄

67 15:25-15:40

GEONET 解析ストラテジ更新に伴うオフセットの再補正

#佐藤明日花, 藤田健一, 大脇温子, 中浴広樹
三浦優司, 仲井博之

62 14:00-14:15

「令和3年豪雪」に伴う新潟地方 GEONET 点の上下変動

#島田誠一, 愛知正温

閉会宣言 (15:40-15:50)

(#: 発表者, *: 学生優秀発表表彰対象者)

63 14:15-14:30

GEONET と InSAR 時系列解析を用いた利根川中流域における鉛直変位の把握

#山下達也, 三木原香乃, 田中もも
マービット京湖

ポスター発表

揭示: 11月17日~11月19日

-休憩-

コアタイム (1) 11月17日

(17:45-19:00)

地殻変動(6) (14:40-15:40)

座長: 村瀬雅之

P01 気象研究所における GNSS 対流圏遅延補正プログラムの開発(序報)

#奥山 哲, 安藤 忍, 新堀敏基, 鬼澤真也

64 14:40-14:55

和歌山県北部のエピソディックな地盤変動

#橋本学

P02 ALOS-2 による東シベリア・チュラプチャにおける地表面変位の経年・季節変化の検出

#阿部隆博, 飯島慈裕

65 14:55-15:10

台湾南西沖における褶曲の発達メカニズム: パラメーター依存性について

#高田陽一郎, 竹井義貴

P03 InSAR 時系列解析を用いた伊豆大島の地殻変動

#安藤 忍, 奥山 哲, 島村哲也, 鬼澤真也

66 15:10-15:25

F5 解版地殻変動補正パラメータへの移行に伴う GNSS 測量への影響評価

#田中もも, 山下達也, マービット京湖
山尾裕美

P04 数値シミュレーションを用いた GNSS-A 海底地殻変動観測における単層の海中音速水平傾斜場による影響の検証

#中村優斗, 横田裕輔, 石川直史, 渡邊俊一

P05 スロースリップ信号の検出に向けた石垣島気象台における重力解析 (第一報)

#平松祐一*, 田中愛幸, 小林昭夫

P06 東京都による地下水位観測:序報 -光周波数標準器の不確かさ評価に向けて-

#市川隆一

P07 2014年から2017年にメキシコゲレロおよびオアハカで発生したスロースリップイベントの時空間発展の推定

#坂上啓, 西村卓也, 伊藤喜宏, Vladimir Kostoglodov

Jose Antonio Santiago, Victor M Cruz-Atienza

P08 リアルタイム監視に適用可能な傾斜データの融雪の影響の除去手法

#木村一洋, 河島克久, 松元高峰

コアタイム (2) 11月18日

(17:45-19:00)

P09 科学的・非科学的カラーマップ

#森下 遊

P10 Lバンド SAR データによる九重火山の長期的な地殻変動

#成田翔平, 大倉敬宏

P11 GNSS-A 海底地殻変動の地殻変動現象の検出能力

#石川直史, 横田裕輔, 渡邊俊一, 中村優斗

P12 2種類のソフトウェアによる VLBI データの相関処理結果の比較

#林京之介, 高木 悠, 湯通堂亨, 佐藤雄大

P13 道東屈斜路カルデラ地域における精密重力モニタリング(2020年~2021年)

#名和一成, 山崎 雅, 宮川歩夢, 高橋浩晃

大園真子, 青山 裕, 岡田和見, 山口照寛

岡 大輔, 岡崎紀俊, 今西祐一, 西山竜一

本多 亮, 池田 博, 白川龍生, 大井拓磨

P14 (準)周期的変動を含む測地データの LSTM 深層学習:人工データでのテスト

#三井雄太

P15 アジョイント法に基づく2003年十勝沖地震の余効すべりの現状把握と短期推移予測

#加納将行, 宮崎真一, 石川洋一, 平原和朗

P16 稠密 GNSS 観測から見える北海道東部屈斜路カルデラ周辺の地殻ひずみ速度場(2003-2020年)

#大園真子, 高橋浩晃

2021年公開講座(オンライン版)

(<http://www.geod.jpn.org/contents/openlc.html>)

●地震や火山を実験で再現しよう！

日時：2021年11月20日(土)

午前の部 10時30分～12時

午後の部 14時～15時30分

講師：風間卓仁（京都大学）

開催方式：Zoomによるオンライン形式

Zoomの練習会を11月13日(土)の午前午後それぞれ予定

申込先：釧路市こども遊学館ウェブサイト <http://kodomoyugakukan.jp/>

締め切り：11月5日(金)23時50分まで

共催：釧路市こども遊学館

参加無料です。定員は各回15名です。応募者多数の場合は抽選になります。